

インターネットの「まとめアカウント」に 関する社会学的研究

山中 海音

情報技術の発展により、人々を取り巻くメディア環境は大きく変化した。それと共に、人々の情報収集方法も多様化し、それまで情報発信を担っていた新聞、雑誌、ラジオ、テレビに加え、現在ではインターネットや SNS を用いて情報を獲得することもできる。特にインターネットの発展は目覚ましく、ここ数十年で急速に普及した。インターネットは、マスメディアより高い速報性に加え、場所や時間に縛られず情報に接続でき、他者との意見交流まで可能にする。「令和 5 年度情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査報告書」は、平日のメディア利用時間は 10 代から 50 代はネット利用時間が最も長く、休日においても 30 代まではネット利用時間が最も長いことを明らかにした。今となってはインターネットの重要性は誰もが認識していることであり、その影響力も明らかである。

そのような中で、現在 SNS では様々な「まとめアカウント」が多数見られる。まとめアカウントとは、現在 SNS 上で見られる、外部ブログへの移動が必要なく、該当する投稿内で情報をまとめて発信しているアカウントのことを指す。例えば、X では現在、ニュース、セール、旅行、グルメ、ダイエット、ゲームなど、それぞれ専門とする情報をまとめて発信しているアカウントが数多く存在している。Instagram でもその姿を確認することができ、グルメ情報や観光地、ギフト、化粧品、ダイエットなどをまとめるアカウントが多くみられる。YouTube では「切り抜き動画」といった、動画投稿者の生配信や動画のなかで見どころを切り抜いてまとめた動画を作成・投稿するアカウントなどが多数存在している。上記以外の SNS でもまとめアカウントの存在を確認することができ、彼らは巨大化した SNS を構成する 1 つの要素といえる。

本研究では話題やニュースを対象とするまとめアカウントを主な研究対象とし、その中でも代表的存在である「滝沢ガレソ」を分析対象とする。まとめサイトは研究の蓄積があるが、まとめアカウントのようなプラットフォーム上で情報収集と発信活動を行う存在の研究は十分にされている状態とは言えない。しかし、彼らの存在は情報、特にニュース情報において、無視することができない存在であ

る。話題やニュースを専門とするまとめアカウントは、アマチュアでありながらマスメディアの情報にさらに編集を加え、人々はその情報を介してニュース情報を獲得している現状がある。事実として、滝沢ガレソは X においてマスメディアのアカウントを凌駕するフォロワー数と平均インプレッション数を持つ。彼らはインターネット上のジャーナリズムに関わる存在であるが、その活動にジャーナリズム的意識は見られない。

そこで本研究では、まとめアカウントをインターネットの情報発信・受信に関わる諸問題の社会的要因ではないかと仮説を立て、彼らを分析することで、現在のメディア環境を明らかにしつつ、その問題点を考察する。本研究の意義は、「メディア」という括りの中で見逃されてきた存在である中間メディアのまとめアカウントを研究することで、彼らの役割や性質、そして現在のメディア環境を明らかにしようとする点にある。

第 1 章では、まず、日本におけるニュース接触の変化と SNS の利用方法について、調査研究から整理した。次に、インターネットと共に普及した「まとめ文化」について、歴史的展開やその役割・特徴を明らかにした。最後に、まとめアカウントについて取り上げた。彼らの活動や現状、そしてまとめ文化から発展した新たな役割を紹介した。

第 2 章では、滝沢ガレソの投稿を、二次情動的投稿、一次情動的投稿に分け、それぞれ事例を用いて紹介した。また、それぞれの投稿がどのような役割を持っているのかを考察し、滝沢ガレソの特異性を明らかにした。

第 3 章では、まとめアカウントのようなマスメディアともソーシャルメディアとも分類できない中間メディアを、藤代の「ミドルメディア」概念を用いて整理した。具体的には、1990 年代後半からのインターネットの歴史的変遷を、1990 年代後半、2000 年代、2010 年代の時代区分に分け、現在まで続く現在の特徴を明らかにした。また、ミドルメディアからまとめアカウント・滝沢ガレソの変化を明らかにし、メディア環境の変化を考察した。

第 4 章では、ゲートキーパー理論、オピニオンリーダーの2つの理論的な視座から彼らを捉えた。また、ジャーナリズムの観点から、滝沢ガレソ・マスメディア双方が抱える課題を取り上げた。まとめアカウントの存在は、既存メディアと通ずる機能を持ちつつも、その在り方はソーシャルメディア普及以降の時代に適応されたものであり、そこに新規性を見出した。